# RHEL8.5から登場した Red Hat Connector

Solution Architect 森若和雄 2021-11-19



## このスライドの目的

- 対象: RHEL運用管理者
- 目的: RHEL 8.5から登場したrhc(Red Hat Connector)の目的を理解して要不要の 判断ができるようにする

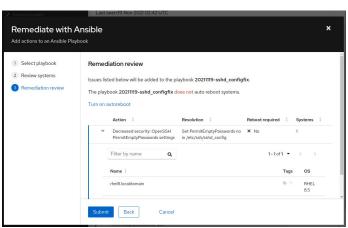
## Red Hat Connectorが解決しようとしている課題は何?

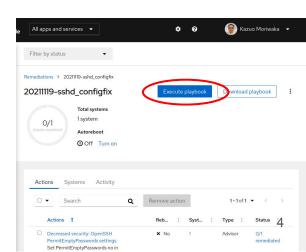
- Red Hat Enterprise Linuxの初期登録が煩雑
  - o rhc connectコマンドだけで以下を処理
    - subscription-manager register
    - insights-client register
    - Red Hat InsightsへのOpenSCAPスキャン結果登録
- Red Hat Insightsの機能強化
  - Red Hat Insightsは1日1回情報をスキャンして診断情報を提供するSaaS
  - Red Hat ConnectorはRed Hat InsightsからのRemediation(Ansible playbook)実行を可能にする
    - 関連パッケージ更新、設定の自動修正など
    - 従来もできたが、別売のRed Hat Smart Managementが必要だった

#### Red Hat Connector利用のおおまかな流れ

- 各システム上で、rhc connectコマンドを実行してアカウントへ登録する (1日1回、Red Hat Insightsが自動的に情報収集と診断)
- 2. 管理者がRed Hat Insights上でRemediationを作成
- 3. RemediationのExecute playbookボタンを押すとシステムが修正される







#### Red Hat Connector

Red Hat Connector はrhcコマンドとrhcdサービスからなります。

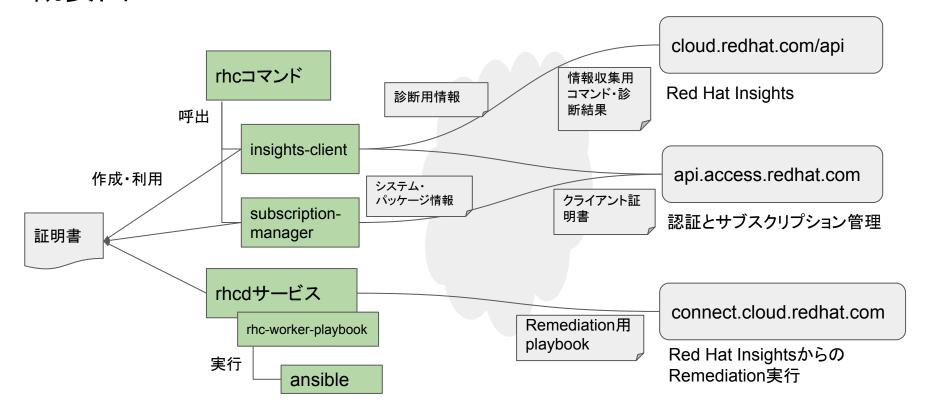
#### rhcコマンド

- Red Hat Insightsへ登録
- Red Hat Subscription Managementの登録
- Red Hat Connector Daemon(rhcd)の有効化

#### rhcdサービス

● Red Hat InsightsからのRemediation(Ansible playbook)の受け付けと実行

## 概要図



#### Cloud ConnectorとRed Hat Connectorの比較

Red Hat InsightsからRemediationを実行するための仕組みとしては以前からCloud Connectorがありました。簡単に比較します。

	Red Hat Connector	Cloud Connector
対象RHELバージョン	8.5以降	Insightsに対応した全バージョン
登録するもの	各RHELシステム	Red Hat Satellite Server
Smart Management 必要?	不要	必要
通信の仕組み	各RHELのrhcd	Satellite Server Oreceptor

#### rhcコマンドの使い方

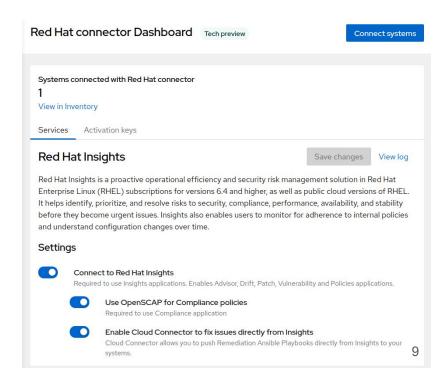
- 事前設定 (Remediation実行をしたい場合)
  - # subscription-manager register
  - # subscription-manager repos --enable ansible-2.9-for-rhel-8-x86\_64-rpms
  - # dnf -y install ansible rhc-worker-playbook
- アクティベーションキーを使って登録
  - # rhc connect -a <activation-key> -o <organization-id>
- アカウント情報を使って登録
  - # rhc connect -u <username> -p <password>
- 登録を削除
  - # rhc disconnect

#### Red Hat Connectorの設定

#### https://red.ht/connectorで、登録したときの機能の利用有無を設定

- Red Hat Insightsの利用有無
  - Insights内でのOpenSCAPの利用有無
  - o InsightsからのRemediation実行の利用有無

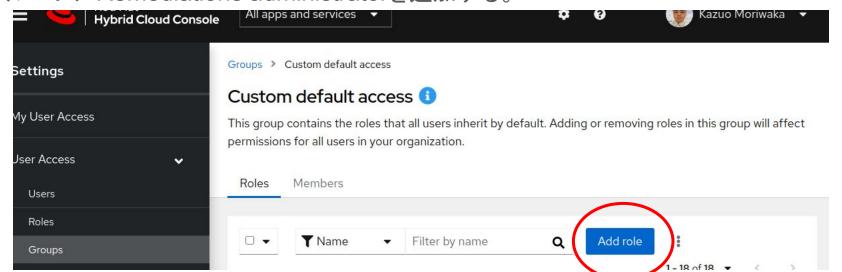
「Insightsのレポートは見たいけれど リモート実行はNG」のようなケースに対応



## ユーザにRoleを追加

Remediationを実行するには Remediations administrator ロールが必要。 デフォルトでは許可されていない。

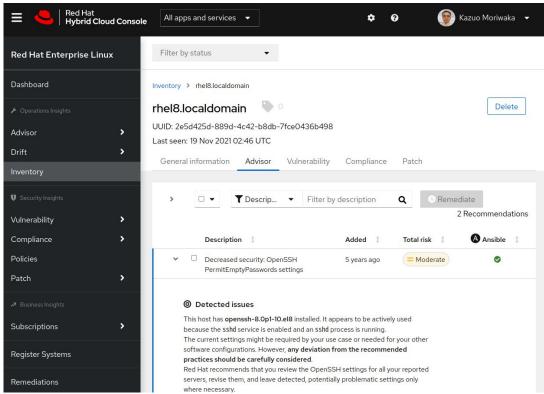
https://console.redhat.com/settings/rbac/groups で、実行を許可したいユーザのグループにRemediations administratorを追加する。



# Red Hat Insightsでシステムの状態を確認

console.redhat.com/insights/ でシステム状態を確認する。

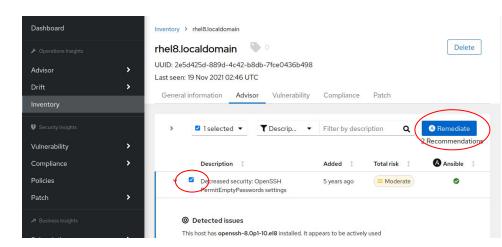
検出した問題のうち、自動修正できるものはAnsible欄にチェックがつく。

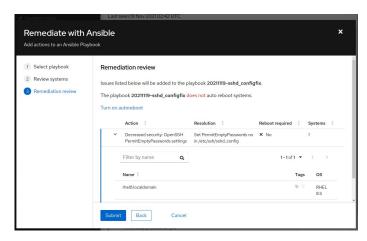


## Remediationを作成する

修正したい問題のチェックボックスを選択すると Remediate ボタンが有効化

ウィザード形式でRemediationを作成



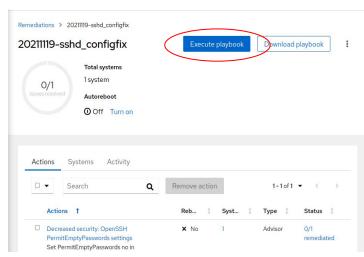


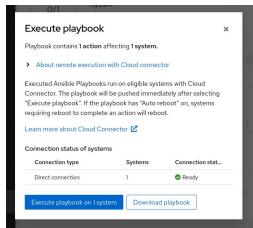
#### Remediationを実行する

作成したRemediation内で Execute playbookボタンを押すと 実行確認のダイアログを表示

Execute playbook on X system ボタンを押すと rhcd経由で修正用のansible playbookを実行

各システムのrhcdのログに実行の詳細が記録される





## 関連資料

公式ドキュメント

Red Hat Connector Configuration Guide Red Hat Insights 2021

Red Hat Insights @GitHub

https://github.com/RedHatInsights

yggdrasil(rhcOupstream project)

https://github.com/RedHatInsights/yggdrasil

## 既知の問題

この資料を書いている間に気付いたものをメモしておきます。

- rhcdのエラーメッセージ
  - 起動時にcannot start watching '/etc/rhc/tags.toml': Istat /etc/rhc/tags.toml: no such file or directoryのようなメッセージが出る → optionalなファイルで安全に無視できる。ログのレベルを下げる予定。
  - ansible playbookを実行したあと cannot send message
     b8b503de-9ae3-4983-9a3d-12cf3dfa83f0: rpc error: code = Internal desc = Failed to serialize response! のようなメッセージが出る →調査中 #2020426
- ドキュメント
  - Red Hat ConnectのドキュメントにRemediation administrator roleが紹介されていないので不親切
    → バグレポート済

#### 想定Q&A

Q: rhcコマンドの利用は必須ですか?

A: いいえ。Red Hat Insightsを利用しない場合、問題なく無視することができます。

Q: rhcの利用にはSimple Content Access(SCA)が必須ですか?

A: SCAの利用が推奨されますが、必須ではありません。SCAを利用しない場合は別途 subscription-managerでのサブスクリプションのattach操作が必要です。

Q: rhcを利用するとsubscription-managerは使わなくてよいですか?

A: rhcはRed Hat Subscription Managementへの登録だけを行います。リポジトリの有効化・無効化や、SCA無効時のサブスクリプションattachなどには subscription-managerの利用が必要です。

# Thank you

Red Hat is the world's leading provider of

enterprise open source software solutions.

Award-winning support, training, and consulting

services make

Red Hat a trusted adviser to the Fortune 500.

- in linkedin.com/company/red-hat
- youtube.com/user/RedHatVideos
- facebook.com/redhatinc
- twitter.com/RedHat

